

東京都保健医療計画説明会 質疑応答（令和6年5月27日開催）

項番	内容	資料	質問	回答
1	医療DX	P47	AI技術活用促進事業について、AIの問診や音声自動入力等の話があったが、他院での導入事例はあるか。好事例があれば教えてほしい。	都でも好事例の収集に努めており、医療機関デジタル化推進セミナー事業の中で、実際にAI技術等を導入している事例についてもご紹介したいと考えています。
2	医療DX	P47	8月からの医療機関デジタル化推進セミナーに参加してからでも、AI技術活用促進事業の申請には間に合うか。	申請期限は今後ご案内しますが、医療機関デジタル化推進セミナー参加後でも、AI技術活用促進事業の補助事業の申請ができるスケジュールとするよう検討しています。
3	医療DX	P46	医療機関デジタル化推進セミナーは基礎編だけの受講も可能か。	基礎編だけの受講も可能です。応用編は対面形式のため定員を設けますが、基礎編はオンデマンド配信とし、申込をいただいた方であればどなたでも視聴可能とする予定です。
4	災害	P52	以前、自家発電設備整備の補助金を受け自家発電装置を更新したが、更新済みの設備に防水対策を追加する場合にも災害拠点病院等自家発電設備等整備強化事業が活用できるか。	補助事業を活用して自家発電設備を整備した後、浸水想定区域が更新されたことで新たに水害対策を講じる必要が生じた場合は、本事業を活用して設備の防水対策を行うことが可能です。
5	災害	P51	災害拠点病院等自家発電設備等整備強化事業と医療施設浸水対策計画策定支援事業を両方申請することは可能か。	両方申請いただけますが、病院全体の浸水対策としての整合性を図っていただく必要があります。
6	その他	-	物価高騰や資源価格の高騰等の影響で増えたコスト負担により、病院事業の継続が困難になるほど赤字を計上しているが、それに対する補助はないか。	都では、昨年度物価高騰等に対する補助事業を設け、医療機関に対する支援を実施しました。引き続き国に対して診療報酬の改善について訴えていきます。また、ハード・ソフト両面で様々な補助事業等を実施していますので、引き続き積極的な活用をお願いいたします。
7	人材	P55	勤務環境改善医師派遣等推進事業について、時間外労働が年720時間を超える医師のいる医療機関に医師派遣を行う医療機関が対象となっているが、720時間を超える医師がいる医療機関というのはどのようにして把握できるのか。	事業の実施にあたり、派遣元の病院、派遣先の病院との間でどの方が該当するかを確認していただく必要があります。それに当たり、雇用契約の写しなどを資料としてご提供いただくことを予定しています。 具体的な手続きは現在検討中のため、準備ができ次第ご案内いたします。
8	医療DX	P48	病院診療情報サイバーセキュリティ対策支援事業について、今後補助事業に関する案内がされるとのことだが、現在検討中で補助事業の通知前に着手した部分は補助対象になるか。	他の補助事業と同様、交付決定等の後に取り組んでいただく取組が補助対象となります。
9	その他	-	がん診療連携拠点に関しては、東京都全体での整備を考えた方が良いのではないか。病床配分も同様ではないか。	がん診療連携拠点病院に関しては、現計画では二次医療圏ごとに拠点病院を整備していくこととしていますが、高度な症例のがんに関しては、今後集約化も想定しています。 病床配分に関しては、6年度は休止とし、7年度以降の方向性を今後検討していきます。